

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 溪仁会	代表者	谷内 好	法人・ 事業所 の特徴	法人内で様々な介護保険事業を展開しており、情報の共有・連携をすることが出来ます。 「わが家のように、いきいき」という施設理念のもと、ご利用者様1人1人が日々充実した日常生活を過ごすことが出来るように、季節に合わせた行事や外出行事を企画・提供をしています。
事業所名	菊水こまちの郷	管理者	近藤 学		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	4人	1人	0人	4人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービスの質の向上・柔軟なサービス提供をすることが出来るように、事業所体制を整備していく。	質の高いサービス提供をするうえで、事業所として職員間の統一した情報共有が出来るようになっていない。	個人情報の取り扱いについては、声のトーンなど、細かな点に配慮をされているように感じます。	職員間の情報共有の統一を目的として、事業所内で毎日小MTを開催する。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も定期的に事業所に対するアンケートを実施していくことで、接遇も含めた意識の向上を図っていく。	事業所として、接遇・言葉遣いには気を付けているが、事業所としては、もう少し改善をしていく必要がある。	事業所内外に不快な音や臭いもなく、来所時は職員が明るく挨拶をしている印象を受けます。	小規模スペース内にお花や工作レクで作成した物を飾り付けることで季節を感じられるような空間作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり	何か困った際に相談をして頂けるような雰囲気作りをする。	ご本人様・ご家族様には、何か困った際には相談をして頂くことは出来ているが、近隣住民からの相談は無く経過をしている。	事業所としての認識はあるが、地域との距離感はあると思います。	事業所内で回覧板を閲覧することで、地域行事やイベントの情報共有を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方に理解をして頂けるように、事業所の取り組み状況の情報発信をしていく。	広報誌をホームページに閲覧するなどの取り組みをしているが、浸透しているのかは不透明な状況である。	ふれあい交流会やお祭りの参加など、外に出ているイメージはあります。	ご利用者様と一緒に積極的に地域行事に参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事例検討やケース報告をすることで、地域の実情の把握を努めていく。	ご利用されている方のケース報告をすることは出来ているが、地域の心配な方の実情の把握をすることが出来ていない。	事業所の取り組みが分かり易く説明されており、意見についても、きちんと対応しようとする姿勢が見られます。	運営推進会議を通して、地域の実情の把握に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時の活動拠点として利用して頂けるように準備を進めていく。	施設側として食料品の備蓄等はあるが、災害時の活動拠点としての認識には至っていない。	施設側が地域の防災訓練には参加をしてみてもと思います。	地域の防災訓練に参加・参画をする。